

台湾における現地情報

2022年 10月 12日

株式会社フェアコンサルティング

坂下 幸紘

【台湾での新型コロナウイルス感染・対応状況】

台湾での現在の感染者数は5万人前後となっています。

【台湾渡航時のビザ取得義務の撤廃について】

2022年9月28日より、日本人の台湾渡航に伴うビザ取得義務が撤廃され、従来通りビザなしで90日間の渡航・滞在が可能となりました。

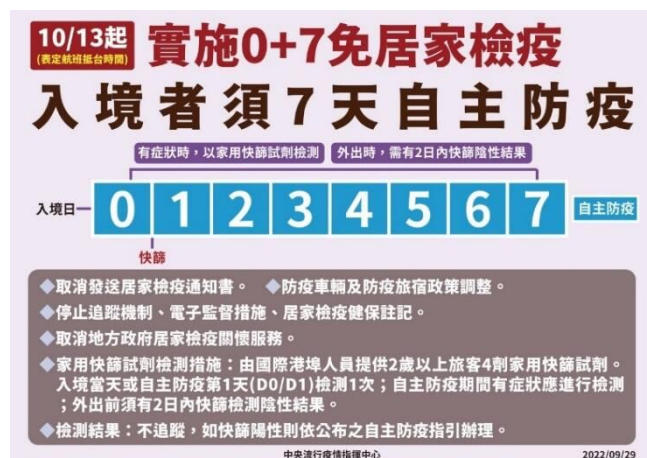
【入境時の隔離義務の撤廃について】

2022年10月13日より、入境時に行われていた3日の隔離措置が撤廃されます。それに伴い防疫ホテルへの宿泊の必要もなくなりました。ただし、自主防疫期間として、7日が設定されており、以下の対応を行う必要があります。

- 2日に一回自分で抗原検査を行い陰性が確認できること
- 期間中は1人1室（浴室・トイレは他の人と別に確保できること）の原則を遵守
- 外出時のマスク着用徹底（自主防疫期間以降も同様）

上記により実質的に入境時の不便はほぼなくなり、台湾入境当日から活動することが可能となり、出張のハードルはほぼなくなりました。

・感染者・死亡者速報通知(2022年10月12日)



【ノービザ滞在の再延長措置について】

2022年10月5日に内政部移民署は、2020年3月21日以前に台湾に合法的に入国し、滞在期間が180日を超える場合は、30日間の滞在期間延長（28回目）することを発表しました。延長には特段の手続きは不要であり、自動で延長されます。これにより既に台湾にいながら本来の滞在期間が過ぎてしまっていた外国人は、引き続き台湾滞在が可能です。ノービザ延長措置で滞在している日本人は自身がいつまで滞在可能か再度確認することをお勧めします。

また、台湾の入国措置がコロナ禍以前の状態にほぼ戻り、正常化しつつあるため、今回の延長が恐らく最後になる見通しです。

フェアコンサルティング台湾
(正緯管理顧問股份有限公司)

台北市松山區民生東路3段128號7樓之1
保富金融大樓
電話：+886-2-2717-0318
担当：坂下 (SAKASHITA)
yu.sakashita@faircongrp.com